

記者資料提供（2024年5月22日）

（一財）神戸観光局 神戸フィルムオフィス

松下、土屋 TEL：078-262-1261 FAX：078-230-0808



神戸へのロケ誘致で直接経済効果 4 億円越え 2023 年度の実績が過去最高額に

神戸フィルムオフィスは 2000 年に神戸市によって創立されたフィルムコミッション^{※1}です。市民の皆さまの協力のもと、昨年までの 23 年間で 3,700 を超えるさまざまな映像コンテンツの誘致・撮影支援を実施してきました。

2023 年度（令和 5 年度）の支援作品の直接経済効果^{※2}が 4 億円を超え、23 年間で最高額となりました。

※1 映画やテレビドラマ、CM などの映像プロジェクトを地域に誘致し、地域の活性化等を目的に、撮影がスムーズに進行するようサポートする非営利団体のこと

※2 撮影隊が撮影地域で直接支払う費用／宿泊費・飲食費・交通費、資機材レンタル等のほか、施設利用料やロケセット施工料、警備費など

1. 2023 年度の直接経済効果：4 億 2684 万 8177 円

2023 年度は映画やドラマ、番組、CM などで計 165 作品をサポート。直接経済効果が 4 億 2684 万 8177 円となりました。

■2023 年度 支援実績数

	劇場・配信 映画	テレビ・配信 ドラマ	テレビ・配信 番組	CM・MV その他	合 計
2023 年度	8	12	97	48	165

■2023 年度 直接経済効果 1 千万円以上の作品 （順不同）

- ・シティーハンター（Netflix 配信映画）
- ・帰ってきた あぶない刑事（日本映画）
- ・たとえあなたを忘れても（テレビドラマ）
- ・トレモロ（日米合作映画）
- ・神社（シンサ）（韓国映画）

その他、配信映画 1 作品、配信連続ドラマ 1 作品、日本映画 1 作品

2. 要因

- ・ 2023 年度は月単位での長期ロケをした作品が多く、滞在費が増加した。
- ・ なかでも『シティーハンター』は、クライマックスの銃撃戦シーンのセットをベルトコンベヤトンネル^{※3}内に設営して撮影を行い、作品単体で1億円以上の直接経済効果があった。約半年間の制作期間（準備：約4ヶ月、撮影：16日間、撤収・原状復旧：約1ヶ月）に延べ約3,500人が従事。スタッフやキャストの宿泊や飲食のみならず、セット設営のための資機材調達や施工も地元企業へ発注された。

※3 神戸市がポートアイランドなどの人工島造成時に、土砂をベルトコンベヤで運搬するために掘った巨大なトンネル施設。1964年の稼働開始以来、41年もの間「山、海へ行く」と謳われた神戸のまちづくりを支えてきたが、2005年9月にその役割を終えた



「シティーハンター」ベルトコンベヤトンネルでのセット

3. 参考

- ・ 過去5年間の年度別経済効果・実績数

	直接経済効果 (単位：円)	実績作品数
2019年度	216,106,952	176
2020年度	19,978,100	123
2021年度	124,571,747	187
2022年度	54,669,806	244
2023年度	426,848,177	165